

男女共同参画

◎協働まちづくり課

「コミュニティ推進室

TEL44-3107

日本は…なんと120位！ ～もともと女性が活躍できる社会に～

スイスの非営利財団「世界経済フォーラム」は、世界各国における男女間の格差を測る「ジェンダー・ギャップ指数(GGI)」を発表しています。令和3年3月31日に発表された日本の順位は、調査対象156の国と地域の中で120位で、主要7か国では最下位という結果になりました。

ジェンダー・ギャップ指数の順位

国名	総合順位	ギャップ指数
アイスランド	1	0.892
フィンランド	2	0.861
ノルウェー	3	0.849
ニュージーランド	4	0.840
スウェーデン	5	0.823
ドイツ	11	0.796
米国	30	0.763
韓国	102	0.687
日本	120	0.656

※指数は、0が完全不平等、1が完全平等

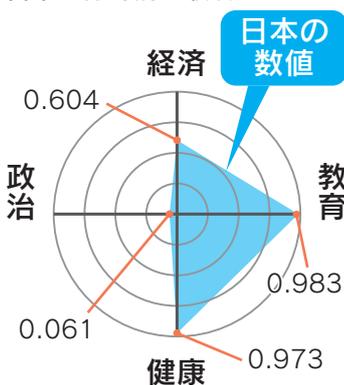
日本の順位は、どうしてこんなに低いのでしょうか？

その理由は、GGIの出し方にあります。この指数は、「政治」「経済」「教育」「健康」の4つの分野における男女格差を総合して算出されていて、日本は「政治」「経済」の分野で指導的な

立場にいる女性(議員や閣僚、管理職)が少ないため、順位が低くなっているのです。

確かに、「ニュース映像などで目にする海外の政治家や企業のトップ」には、日本と比べて女性が多いように感じるのではないのでしょうか。

日本の分野別の状況



※指数は、0が完全不平等、1が完全平等

あらゆる分野で女性の参画を進めるために

市では、政策・方針決定過程への女性の参画を進めるため、市の審議会等の女性委員の割合の引き上げに取り組んでいます。女性の視点や発想を取り入れ、多様性に富んだまちづくりに向けて、女性委員の割合40%を目標に掲げ、女性の意見をさらに市政に反映するよう努めています。

ふくろい 懐かしの風景

vol.5

生涯学習課
文化財係
TEL 23-9264



▲ 丸い目(ヘッドライト)がキュートなオート三輪



◀ 古い車両は棒ハンドル。この車両のような丸ハンドルは後期型です。

菩提のオート三輪 (豊沢)

さんりん

この写真は、昭和60年頃の豊沢地区(菩提)に残っていたオート三輪の車両を撮影したもの。場所は、菩提西バス停の少し東側、茶畑に囲まれた松田製材の作業場です。

オート三輪とは、前一輪・後二輪で走行する小型の三輪トラック(貨物自動車)のことで、当初は運転免許証なしでも運転できたため人気でした。

オート三輪の特徴は、操作が簡単かつ安価で、悪路や過積載に強いこと。狭い道が多い中

で、小回りもよく効きました。周辺での主な用途は材木の運搬で、天竜・森町方面から袋井に向けて丸太を積んで走っていました。ただし、三輪の自動車は安定性に欠けるため、カーブを曲がる時にバランスを崩し、転倒している光景がよく見掛けられました。

やがて日本が高度成長期に入ると、自動車は高速移動・大量運送の時代に入り、オート三輪は主役の座を四輪トラックに譲りました。